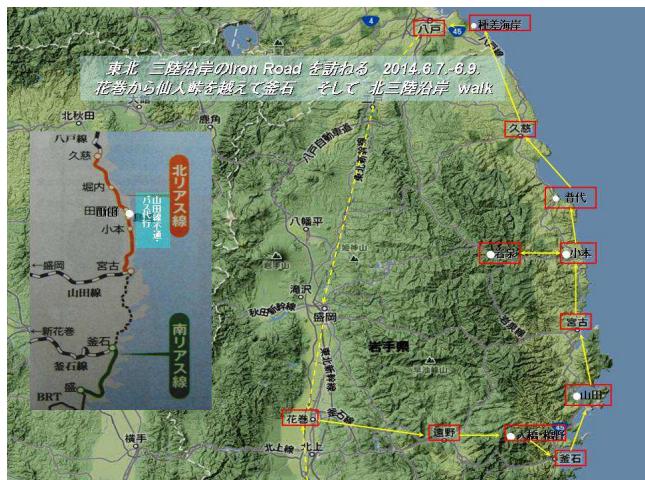


5. 東北 三陸沿岸の Iron Road 再訪 まとめ 2014.6.7.-6.9.



北上川が流れ下る岩手県の中央 北市の市民憲章には

「あの高嶺 鬼すむ誇り その瀬音 久遠の贊歌 この大地 燃えたついのち ここは 北上」
と故郷を切り開いてきた先住の人たちや故郷の大地・川・山への強い連帯の思いと共に歌い上げます。
また、険しい北上山地に抱かれた南部では「田舎なれども 南部の山は 西も東も金の山」と謡う

私の好きな東北 私にとっては奥出雲と並ぶもう一つの鉄の故郷。私の製鉄遺跡探訪のCountry Walkのタイトルに「Iron Road・和鉄の道」と名付けてライフワークにしようとのイメージが出てきたのもこの東北・三陸沿岸久慈。その東北が東日本大震災と大津波に襲われて3年。その惨状と復興の厳しさに 気になって気になっていましたが、足を踏み入れることができず。3年が経ち、三陸沿岸で暮らす人たちの絆「三陸鉄道 北リニアス線が全線開通」と聞き「今、この三陸に出かけることも応援の一つ。

震災後の三陸沿岸の街の今をしっかりと見てこよう。また、再度三陸沿岸の Iron Road をたどって、三陸沿岸の Iron Road に新しいイメージを加えたい」と。

この6月 東京へ行く機会に、北上山地の難所 東仙人峠を列車で越えて、釜石から北へ 山田・宮古・普代・久慈・八戸と「三陸沿岸の Iron Road ・和鉄の道」をたどりました。

まだまだ 三陸の厳しい現実を眼にすることも多かったのですが、困難に立ち向かう行く先々で、多くの人たちに明るく親切に follow してもらって、感謝と共に、ほっとして、思わず「がんばって 応援しているよ」と。
また、三陸沿岸の製鉄関連遺跡や砂鉄浜そして今発掘が進む 製鉄遺跡現場にも行ってこれました。
気にかかっていた三陸へやっと行ってこれました。

南北に広がる東北地方の中央部 蝦夷の根拠地でもあった岩手県では 東に北上山地 西に奥羽山脈の険しい山々が南北に峰を連ね、太平洋側三陸沿岸へ出るには北上山地にある東仙人峠 西の日本海側出羽へは奥羽山脈の西仙人峠（和賀仙人峠）を越えてゆかねばならなかった。

どちらの「仙人峠」も中央との交流・文化とも一線を画す険しい山越の道であるばかりでなく、東北有数の鉱物資源帯「金山」のまっただ中にある峠である。

東北のたら製鉄を調べていて 一番最初に興味を持ったのが、

「この二つの仙人峠と大和に対抗した蝦夷たち。そして彼らが手にして大和を悩ましつづけた蕨手刀」

この北上山地や奥羽山脈に眠る「金山」の支配を狙って、大和の東北蝦夷征伐が始まったとも言われ、北上川が流れ下る内陸中央部に本拠地を持ち、大和と対抗した蝦夷たちの後背地がこの2つの厳しい峠の向こうにある出羽・三陸（閉伊）だったともいわれる。

強力な大和に蝦夷たちが対抗できたのは、突くことから切ることに目的をかえ、自由に操つことができた「蕨手刀」の存在。強靭な鉄で作られた小ぶりで反りのある「刀」。

日本刀のルーツともいわれる。

この蕨手刀のルーツはどこか??

厳しい中央統制の中で、辺境の蝦夷たちはこの蕨手刀製造の製鉄・鍛造技術をどこで育てたのか…

古代 東北では大和の箱型炉とはルーツを異にする半地下式の堅型製鉄炉を急速に広げている。

この東北で育まれた堅型製鉄炉が蝦夷たちの武器製造に使われたのか…

「田舎なれども 南部の山は 西も東も金の山」と謡われた鉱物資源帯 三陸沿岸がその兵器庫だったのだろうか…

この蝦夷の雄「アテルイ」の顕彰碑が敵対した征夷大將軍坂上田村麻呂ゆかりの京都清水寺にある。

そして、東日本大震災の後、いち早く東日本大震災被災者支援の声を上げた寺もある。

また、北上山地を背にリアス式海岸が続く三陸沿岸の眼前には豊かな海が広がり、山には岩鉄・川には餅鉄・浜には砂鉄が堆積する砂鉄浜が点々と続き、久慈・八戸は日本有数の砂鉄層が埋まっている。

また、三陸沿岸 釜石の背後の北上山地東仙人峠近くの山中 大橋・橋野は幕末から明治初期 洋式高炉が立ち並ぶ日本の近代製鉄発祥の地。今 世界産業遺産登録を目指した取り組みが復興の町興しの一つとして進むと聞く。また、眼前の三陸の海は魚や海藻など海産物の宝庫。三陸沿岸の森から海に流れ込んだ鉄が育む豊かな海。三陸沿岸の人々の暮らしを支える海。今 その海が少しづつ戻りつつあると聞く。

どうしても足を向けられなかった震災後の東北・三陸沿岸の Iron Road しっかりと歩いてきたいと。

2014.6.7.早朝 土砂降りの雨 東京から東北へ向かう新幹線で

by Mutsu Nakanishi

5. 東北 三陸沿岸の Iron Road 再訪 2014.6.7.- 6.9.

【まとめメモ リスト】

三陸沿岸の Iron road について、今回 垣間見て、自分なりにイメージを膨らませた事項・忘れてはならぬと思った事項など メモ書き程度ですが、記録しておこうと 今回の三陸沿岸で見聞した事項を整理してメモりました。



復興事業推進で発掘調査が進む 古代の製鉄遺跡 山田町船越 焼山遺跡 2014.6.7.

世界で唯一の古銅器と日本古代式鋳物の複合遺跡 開拓する「久慈鐵道」開拓隊員の墓地 2014.6.7.

久慈・八戸車窓より 秒狭浜 洋野町 陸中中野・有家海岸 2014.6.9.

東北 三陸沿岸のIron Road 再訪 特に印象に残った景色

北上川が流れ下る岩手県の中央 北上市の市民憲章には
「あの高嶺 鬼すむ誇り その瀟音 久遠の賛歌

この大地 燃えたついのち ここは 北上

と故郷を切り開いてきた先住の人たちや故郷の大地・川・山への強い連帯の思いと共感を歌い上げます
また、険しい北上山地に抱かれた南部では

「田舎なれども 南部の山は 西も東も金の山」と謳う

5.1. 復興が進む中で 三陸沿岸の街の今

- | | |
|----------------------------------|------------------------------|
| 1. 釜石の背後の高台に建つ仮設住宅群と釜石の街中で見た津波標識 | イメージをはるかに超える津波の高さ |
| 2. 三陸復興道路と三陸鉄道の開通 | インフラ整備と外とつながれる沿線の人たちの喜び |
| 3. 消え去った街並み跡に声も出なかった | 津波で消えた大槌町・山田町の中心街 |
| 4. 山田湾に無数に浮かぶ養殖いかだ | 沿岸の山々の養分・鉄分が育てた豊かな海 |
| 5. 山田町船越半島 | 船越半島の中央を乗り越えていった津波のエネルギー |
| 6. 普代の大防潮堤と普代川水門 そして 普代名物すぎ昆布 | |
| 7. トンネルからトンネルへアス式海岸の集落を渡る三陸鉄道 | 高い土盛路線で復旧した田野畑村 島越駅 朝日新聞記事より |

5.2. 三陸沿岸のIron Road

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1. 内陸部と三陸沿岸を隔てる東仙人峠のすごさと陸中大橋 | 2002年鳥瞰写真で見る仙人峠の急峻さ |
| 2. 洋式高炉が立ち並ぶ日本の近代製鉄発祥の地 陸中大橋・橋野 | 日本の近代製鉄発祥を成し遂げたベース技術 三陸沿岸のたたら製鉄 |
| 3. 炭窯と豊型炉が近接同居する山田町船越の古代の製鉄遺跡 | これが東北で育まれた豊型製鉄炉による製鉄場?
芻夷の兵器庫 三陸沿岸の思いをダブらせる |
| 4. 豊かな海を育てる沿岸の山々 | 沿岸の山々の養分・鉄分が育てた豊かな海 |
| 5. 久慈・八戸の砂鉄と南部鉄 | 北三陸久慈・八戸に古代たたら遺跡はないのか・・・ |
| 6. 砂鉄の宝庫 三陸沿岸の砂鉄浜 | |

